

声は人なり

10月  
新講座

# 朗読で親しむ 「江戸の心」

～自分に合う伝え方を身につけて魅力アップに繋げる～

講師 一般社団法人日本江戸しぐさ協会代表理事 山内あやり  
開講日 第3日曜日 13:00～14:30  
受講料 3ヵ月分 7,200円+税  
持ち物 筆記用具

## 江戸の美人はソフトで決まる。

浮世絵に描かれている江戸三大美人の一人、商家の看板娘「笠森お仙」の“あいづち”は絶品で、その落ち着いた心地よい声は“アルト”の声と呼ばれ、たちまち人気と信頼を集めたそうです。江戸では、もって生まれた見目形の良さだけではなく、日常から自分を磨くことで身についた内面の豊かさを評価しました。その内面が形として現れる重要な一つが“声”なのです。

「声は人なり」…これは“声はその人そのものなり”という意味。声は喉やお腹から出すものではなく、感性で受け止めた“結果”として、内面から自然とあふれ出るもの。つまり、声が出るまでの「過程」が重要。内面が形となって表れる「江戸しぐさ」では、声も美人の条件なのです。

自分らしい声を探すこと、コミュニケーションを円滑にする話し方、仕事のプレゼンやスピーチで印象に残る伝え方...など、講座を通して、表現することの楽しさを体感し、あなたの内面に合った表現力を引き出すことで、自信と魅力アップに繋がります。10月から始まる3ヵ月講座です。



期待できます！

こんな効果が

- 自分らしい声や表現が見つかります
- 説得力のある話し方が身に付きます
- 声が磨かれ魅力アップに繋がります
- 人付き合いが楽しくなります
- ビジネスの場面で自信が持てます

こんな方に

- 相手に伝わる話し方を習得したい
- コミュニケーション力を上げたい
- ビジネスでの表現力を磨きたい
- 就職活動や面接に役立てたい
- 声を出すことや朗読、語りに興味がある

おススメ！

## ◆平成27年10～12月 カリキュラム◆

### 第1回 10月18日

声は人なり・声は内面から出るしぐさ  
発音と発声・江戸しぐさというアルトの声とは？

### 第2回 11月15日

声の距離感・子どもっぽい表現と大人らしい表現  
声の大小/明暗について・日本語のアクセント  
早口言葉の表現方法

### 第3回 12月20日

抑揚と表情・目線の大切さ・あいづちの間合い  
行間を表現することの大切さ～声にしない表現  
擬音、修飾語で気持ちを伝える

毎回、講座の前半は・・・

江戸で一世を風靡した歌舞伎役者、市川團十郎の十八番「外郎売のセリフ」の冒頭部分を教材に、単なる発声練習や早口言葉の訓練でなく、意味を捉えながら“伝える表現”としての語りを体得しましょう。

後半は・・・

江戸の小話や日本の童話など、より親しみやすい作品を取り上げ、日常に活かせる実践的な表現を磨いていきましょう。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。  
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。  
※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。



名古屋・栄 中日文化センター  
Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル  
0120-53-8164 10:00～19:00  
日曜日は17:00まで  
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。